

1 研究の概要

■調査研究委員会活動方針

令和元年度末より、学校は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という危機的な事態に直面し、感染状況の予測が極めて困難な中、常に模索し試行錯誤を繰り返してきた。こうした中でも持続的に子どもたちの教育を受ける権利を保障していくため、危機に直面しても思考停止にならず、本当に大切なことは何か、どうすれば実現できるのか知恵をしばり、力強く教育活動を進めていかなければならない。

県においては「一人一人の個性が輝く、ふくい未来を担う人づくり～子どもたちの『夢と希望』『ふくい愛』を育む教育の推進～」を基本理念とする新たな「福井県教育振興基本計画」が策定され、ふるさと福井への誇りと愛着をもち、自ら学び考え行動する力を育む教育が求められている。

福井県小学校長会では、令和3年度活動方針の中で、5つの重点活動を示している。それらは、「1 学校経営の充実 2 研究活動の充実 3 持続可能な社会を担う児童に『生きる力』を育む教育課程の編成・実施・評価・改善 4 教職員の資質・能力の向上 5 教職員の定数や処遇の改善、働き方改革の推進」である。校長は現状を深く認識し、教育改革の動向を的確に把握しながら、リーダーシップを発揮し、確かな計画と実行力をもって教育成果を上げていかなければならない。私たちは、組織の総力を挙げて課題解決に努めるとともに、積極的に政策提言を進め、もって県民・国民の信頼に応える必要がある。そのために、校長は自らの使命を自覚し、学び続け、権限と責任をもとに、未来社会に夢と希望をもち、たくましく生きる児童の育成を志向して、活力ある学校・信頼に応える学校づくりに努めなければならない。

全国連合小学校長会では、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」とする中央教育審議会答申を受けて、ICTを活用した個別最適な学びの実現に向けて「GIGAスクール構想」に基づく一人一台タブレットの活用に関する課題についても調査をする。本委員会でも、それに準じて調査内容を変更し、今日的な学校教育の課題、学校経営上の諸問題など社会の変化に即応した学校の取組について調査研究し、対策に資することとする。

■調査研究内容

- 1 全国連合小学校長会令和2年度研究紀要より項目を抜粋して調査研究を行う。令和3年度福井県のデータと、令和2年度における福井県のデータならびに全国連合小学校長会「研究紀要」のデータを比較した調査研究を行う。
- 2 会員からの要望による調査項目について、追加して調査研究を行う。
- 3 福井県全体の調査研究をもとに、各郡市の課題や諸問題について調査研究を行う。

■調査研究テーマ

「新しい時代に必要な資質・能力を育成するための教育課程の編成と校長の役割Ⅲ」

■調査項目

- 1 県民の信託に応える小学校教育の在り方や学校評価の在り方に関する課題
- 2 教員の資質・能力の向上と子どもと向き合う環境づくりに関する課題
- 3 少人数学級の推進、外国語科・外国語活動や特別の教科道徳への対応など、新たな教育改革・教育施策に関する諸課題
- 4 教育課程の編成や学習評価の改善に関する課題
- 5 管理職の職能に関する課題
- 6 特別支援教育の推進に関する課題
- 7 児童の問題行動などに対する生徒指導推進上の課題
- 8 新型コロナウイルス感染など非常事態に対応するための校長の役割
- 9 今日的な課題に即応した学校づくりに関する課題

■調査対象・方法

- 1 調査対象 福井県全小学校 185校 [国立1校・市町立184校]
- 2 調査期間 令和3年7月2日～7月21日
- 3 調査方法 質問紙による回答 [各設問の選択数は、全国連合小学校長会調査と同数]